

# 北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

## 北薩教育事務所便り

平成29年度 第6号 1月12日発行

所在地：薩摩川内市隈之城町228-1

☎：0996-20-8772

FAX：0996-25-3095

### 明治維新150周年を追い風にした教育課程の「目玉」づくり

新たな年を迎え、戌年、平成30年の幕開けです。今年もよろしくお祈りします。

各学校では、新学習指導要領の趣旨を生かした教育課程編成に取り組み、特に、小学校では、移行措置期間まで3か月足らずとなり、鋭意、特色ある内容の検討がなされていることと思います。また、明治維新150周年、大河ドラマ「西郷どん」の放送開始による郷土教育の充実など、学校の内外ともに節目の年、スポットを浴びる機会の多い年となりそうです。

ご存知のように、新学習指導要領のキーワードは「主体的・対話的で深い学び」です。この実現に向け、全国の学校では、授業改善に取り組んでいますが、既に、鹿児島では、藩政期において、郷中教育(薩摩藩独特の教育システム)の中で実践していたのです。郷中では、小稚児(こちご)、長稚児(おせちご)といった小集団が形成され、長稚児の中からリーダーが生まれ、先生役になります。早朝、二才(にせ：元服した者)が四書五経などを教えた後、長稚児が年下の者に反復練習を徹底させるなど、地域の中での教育を重んじる基盤ができていたのです。さらに、藩校『造士館』では、先生が講義をするのではなく、子供が互いに議論したり、話し合ったりする「回読」が主たる授業形態で、先生は質問があった時だけ指導していました。そのような場面を通して自力で解決する力を身に付け、全体の中における自分の役割を考え、コミュニケーション能力を高めていったのです。

そして、忘れてはならないことは、家庭では、祖父母も子育てに加わり、読み聞かせなどをして愛情いっぱい(おや)に養(育て)、地域社会でもわが子同様に子供たち(おや)を養(いにしえ)ってきた、古より続く鹿児島の教育のすばらしさです。このことが、子供たちの能力を大きく伸ばし、その結果、小集団がそれぞれ力を付け、強力なものとなり、さらに明治維新を成し遂げる原動力へとつながっていったのです。ちなみに、他県にも明治時代に、家庭・地域・学校の密なる連携を推進するために「家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実がなる」という『家庭心得』を配布した先人がいたそうです。薩摩藩の郷中教育の精神と相通ずるものがあります。

奇しくも新学習指導要領は、社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視しています。「西郷どん」の放送など明治維新150周年を追い風に郷中教育をイメージしながら、自校の教育課程の「目玉」づくりに生かして行ってほしいと思います。

北薩教育事務所 所長 木之下 浩一

## 主体的・対話的で深い学び

〔出水市立高尾野中学校〕

本校は、主体的に対話的な学習を深めるための学習形態の工夫を行っています。「コの字型の座席配置」や生徒が自分の席を離れて「教え合う」ことで主体的に学ぶ意欲が高まっています。

### コの字型座席配置による学習形態の工夫（1年生）「国語科」



考えを伝え合う様子

座席を4人グループで1単位としたコの字型に配置します。互いの顔がよく見え、隣の席との距離も近くなり、生徒のつぶやきや生徒同士の交流が活発になることで、学び合おうとする姿勢が育まれます。

国語科においては「コの字型の座席配置」により、対話を深めるための学習形態の工夫を行っています。意見や考え方の交流が活発になりました。社会科では「教え合う学習」において全員が課題解決することを目標にすることで、生徒一人一人が目標を達成しようと協力しながら主体的に活動する姿が見られるようになりました。

### 教え合い・学び合う学習活動の設定（2年生）「社会科」



生徒同士で教え合う様子

社会科の授業では、学習内容に応じていくつかの「教え合う」学習活動の場を設定しています。左の写真は2年生の地理的分野の学習で、自由に席を離れて、学習した地名の場所を生徒同士で確認している様子です。

### 〈教育事務所から〉

生徒の学ぶ姿勢が培われ、ペア、グループ活動等がスムーズに、主体的、対話的に行われています。また、「研学」(自主学習ノート)に取り組みせ、家庭の協力を得ながら、自己教育力の育成に努めています。

## キャリア教育の充実に向けて

キャリア教育の充実を図り、児童生徒に学ぶ意義を認識させ、学習意欲を向上させていくことが必要です。

各教科等の時間において、単元などの特質を生かしたキャリア教育を実践することにより、「なぜ勉強しなくてはいけないのか。」「今の学習が将来どのように役立つのか。」（現在の学びと実社会とのつながり）ということなどについての発見や自覚が芽生え、日頃の学習に対する姿勢の改善につながり、そのことがより深い学習に結び付いていくことが期待されます。

まずは、教科等の内容や指導方法が、基礎的・汎用的能力（下の表）の4つの力のうち、どの力の向上に役立っているのか、キャリア教育の視点で捉え直してみよう。

（参考 国立教育政策研究所資料）

### 基礎的・汎用的能力

#### 人間関係形成・社会形成能力

例：他者の個性を理解する力、コミュニケーション・スキルなど

#### 自己理解・自己管理能力

例：自己の役割の理解、自己の動機付け、主体的行動など

#### 課題対応能力

例：情報の理解・選択・処理、課題発見、計画立案、実行力など

#### キャリアプランニング能力

例：学ぶこと、働くことの意味・意義の理解、将来設計など

## 受賞おめでとうございます

- 子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）文部科学大臣表彰  
お話の会たんぽぽ（薩摩川内市立城上小学校親子読書会）
- 優良PTA文部科学大臣表彰  
長島町立獅子島幼・小・中学校PTA
- 優良少年少女団体表彰及び優良地域高校生クラブ等表彰  
ジュニア・リーダークラブ「BAMBI」（阿久根市）  
出水市立出水商業高等学校調査研究同好会  
田崎子ども会（薩摩川内市）
- 「家庭の日」絵画・ポスター・標語作品  
優秀学校賞 さつま町立求名小学校
- 地域が育む「かごしまの教育」県民週間表彰<標語>  
学校賞 阿久根市立田代小学校
- 県学校環境緑化・学校林等活動コンクール  
学校林等活動の部  
優良賞 出水市立大川内小学校
- 第52回全国野生生物保護実績発表大会  
環境大臣賞 出水市立鶴荘学園  
環境省自然環境局長賞  
薩摩川内市立祁答院中学校



## がんばれ出水！ がんばれ川薩！ 第31回鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会

単人～国分コースにて、平成30年1月28日（日）に開催されます。昨年は、出水5位、川薩が6位という成績でした。管内の中学生も出走しますので、選手や指導者への激励、声援をお願いします。



[ 出水チーム ]



[ 川薩チーム ]

## 第65回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会

平成30年2月17日（土）から21日（水）まで5日間の予定で開催されます。昨年度、川薩チームは5位、Bクラス優勝、躍進賞を受賞し、出水チームは7位という成績でした。両チーム共に、昨年以上の結果を目指して練習に励んでいます。18日（日）は南さつま市から出水市まで、19日（月）は出水市から霧島市までがコースとなっています。応援をよろしくをお願いします。

## 冬季の健康管理について

年明け早々、川薩保健所管内にインフルエンザ流行発生警報が発令されました。また、県内でもインフルエンザの罹患者数が増えつつあります。

各学校においては、「今冬の学校におけるインフルエンザ総合対策の推進について（H29.11.24付け）」や「インフルエンザに関する注意報発令について（H30.1.4付け）」等を参考に、早めの予防や対応を行い、蔓延をストップさせましょう。

参考までに、インフルエンザによる出席停止期間は「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで」です。

## 交通事故・交通違反の防止について

年末から年度末にかけて交通事故・交通違反が多発する傾向にあります。この時期は、何かと慌ただしく心にゆとりがないことに起因する交通事故・交通違反が多いようです。

交通事故・交通違反を起こすことにより、今まで築き上げてきた実績・信頼等を失うこととなります。そうならないためにも、安全運転を心掛け、交通事故・交通違反の防止に努めましょう。

### 交通事故・交通違反を防ぐために〇〇〇

- 道路交通法をしっかりと理解しましょう。また、連休中等に県外へ行く場合は、道路交通法施行細則により、ルールが異なる場合がありますので、注意が必要です。
- 万が一（悪天候、渋滞、道路状態の悪化等）に備えて心の準備をしましょう。
- 「～するだろう」運転ではなく、「～かもしれない」運転を心掛けましょう。
- 自分の『運転のクセ』を理解し、改善しましょう。「青信号に変わるとすぐに出発する」、「ミラーのみに頼ってバックする」、「黄色信号で加速する」、「ながら運転が多い」等の『クセ』はありませんか。

### 常に『心にゆとりをもった行動』を心掛けましょう！

## 授業で実践!! ワンポイントアドバイス⑩

### ペア活動を取り入れる。

授業中、子供同士が話し合う活動を取り入れることはとても大切だ。さらに、もっと大切なことは、「それは考える力を養うために必要な活動である」と教師が意識することだ。まずは、ペアで話し合う（伝え合う）活動を取り入れてほしい。

### 編集後記

昨年末にこの「北薩の輝き」について、管内の全学校を対象にアンケートを実施しました。本教育事務所便りがどのような形で先生方に周知されているのか、どのような情報を希望されているのか、貴重な多くの御意見をいただきました。御協力に心から感謝申し上げます。これからも先生方の実践につながる情報をお届けします。